

項目		説明
試料・情報の	研究課題名	造血幹細胞移植患者における看護師間の施設間連携の取り組み
利用目的及び	研究対象者	2023 年 10 月から 2025 年 10 月までに北里大学病院および湘南鎌倉総合病院より当院に紹介され、同種造血幹細胞移植患者を受けた患者さん。
利用方法	研究目的	造血幹細胞移植患者の看護師間連携の効果と課題を明らかにする
	研究方法	紹介元 2 施設と移植施設の看護師が共通の質問用紙を用いて、取り組み前後の認識の変化、取り組み行う上で困難だったことと成果、今後の課題を明らかにする。この間に情報共有した患者さんの症例について、質問用紙を用いて連携が必要と判断した事柄、連携の方法、困難であった点、成果、今後の課題を明らかにする。北里大学との連携症例 5 例は、移植施設において紹介元施設から提供された情報の有効性、無効性を明らかにし、北里大学の看護師が M-GTA（修正版グ ラウンデ ッド ・ セリ ー ・ ア プ ロ ー チ）で分析する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれます、個人が特定されることが無い様、氏名や住所などの情報を削り、連携を行う上で必要だった治療の経過、看護上の介入、家族背景のみを使用します。質問用紙、提供された看護サマリー、提供された情報共有シートの情報及び神奈川県立がんセンターの看護記録を情報として使用しますが、個人が特定される内容は使用しません。研究の際に使用したデータはプリントアウトしたものを一括管理し、鍵をかけて厳重に保管し、共同研究を行っている院外施設以外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 1 0 月 6 日 ～ 西 暦 2 0 2 6 年 1 2 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[×]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載:_____）、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載:_____)
	[×]情報:	[×]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[×]年齢、[]生年月日、[×]性別、[×]既往歴、[×]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[]臨床検査値、[]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[×]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[×]看護記録、[×]その他(具体的に記載: <u>看護サマリー、情報共有シート</u>)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 看護局外来看護科 平野弘美
	共同研究機関および責任者	湘南鎌倉総合病院 バーシカル千裕 北里大学病院 各務文
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター看護局外来看護科 平野弘美 045(520)2222(代表) 利用停止のお申し出は 2025 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	